

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	企画財政部市民の声を聴く課	直通電話	72-3153	事業コード	601030104	課内	4	作成日	平成15年8月11日	
	担当者		成田 和幸		担当課長		津川 定昭		担当部長	野 昭夫

1 事業のアウトライン

1) 事業名	市記録紹介ビデオ制作事務	開始年度	S57	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 大項目 / 小項目 / 細項目 6010301 市民参加システムの確立 / 広報活動の充実				
3) 個別計画での位置付け	行政改革大綱(市役所情報発信システムの確立を図ること)				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市発展の歴史を動く映像で残すため。より多くの人々が石狩市の歴史について動画で分かるように。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民などが、石狩市発展の様子を映像で見ることが出来るように。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	業者委託により市の発展経過を毎年動画で記録し、それをもとに数年ごとにテーマを決めた作品を制作。 過去の作品制作実績としては、「わたしたちのふるさと石狩」(H3年、ビデオ)、「明日への躍動」(H7年、ビデオ)、「明日への躍動(市制施行後)」(H8年、ビデオ)、「ポートフォリオいしかり」(H12年、DVD)。 このほかにも、昭和57年以前に制作された16ミリフィルム作品3作を昭和57年度にリプリントし、教育委員会に納品した。 高画質の保持と保存性に留意しているため、大手テレビ放送局に業務委託している。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	平成14年度に収録したものは、ArtWarm(アートウォーム)の活用状況、サケ地引き網漁の復活・紅葉山49号遺跡、合併協議会設置調印式・緑苑台小学校新設工事。そのほかにも、GLAY(グレイ)モニュメント花壇の花植えなどを。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	この事業の開始当初は16ミリフィルムで収録していた。平成に入ってから、技術の進歩に伴い、ビデオテープにより収録するようになった。さらに平成12年度に制作した作品は、DVDを採用した。 管内他市町村では、千歳市：記念事業毎に制作、恵庭市：映像フィルムを制作、北広島市：図書館が定期的にビデオ制作、江別市：なし。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	記録は多いに残すべきであり、是非事業継続を。評価は「C」ではなく「B」でよいのではないかと、市民参加を積極的に推進するため、「映像コンテスト」の実施を検討願いたい。

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	2,733	641	641	641	ビデオ記録業務委託料	641	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,151	332	330				
総事業費(1~3の合計;千円)	3,884	973	971			H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	3,884	973	971				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	70	18	17				
事務に従事した正職員のべ人数	0.14人	0.04人	0.04人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
作品制作数(作)	目標値	1	0	0	目標値は年度当初事業計画により設定。 実績値は平成12年度に「ポートフォリオいしかり」を制作。
	実績値	1	0	0	
	達成率	100.0%			
収録テープ本数(ロール)	目標値	2	4	4	目標値は当初予算額により設定。 実績値は毎年契約額の範囲内で取材回数を決めており、通年4回程度取材が可能であるため、左記の数値となった。
	実績値	2	4	4	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
収録対象数(テーマ)	目標値	2	4	4	目標値は当初予算額により設定。 実績値は契約内容による結果。
	実績値	2	4	4	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

5 事業の成果

事業名：市記録紹介ビデオ制作事務

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
ビデオ配布数(本)	目標値		未設定	未設定	1	実績値は、DVD及びダビングVHSを配付した数	払出簿による
	実績値		17	3	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
ビデオを見た人の数(人)	目標値		未設定	未設定	未設定	最低何人見たかを算出。一般市民対象の行事、図書館、学校等において上映。	ビデオ配布先から聴取
	実績値	504	516	532	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
ビデオ上映回数(回)	目標値		未設定	未設定	未設定	1回の上映機会において、幾度も繰り返し上映したのものについては1回とみなした。	ビデオ配布先から聴取
	実績値	5	9	37	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	計画どおり実施することができたので、概ね良好と判断した。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	市が永続的に素材を収集し続けなければ、成果作品を編集することが出来ない所以需要である。目標値は設定していないが、見た人や上映回数が増えているので有効と判断した。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	毎年どの素材を収録するのか、一貫した意図を持ち続けることが肝要であり、それは政策との関連性も深いため、市が企画立案することが望ましいと判断する。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	毎年素材収録のみの委託で約60万円以上を支払い続け、さらに作品制作年度には制作費として200万円程度の委託料を上乗せしているところである。5年に一度作品を制作するとしたら、合計500万円の費用負担となっている。しかし、作品制作は専門技術と設備が必要であり、代替策が無いことから、やむを得ないものと判断する。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	C	[最終評価]	B (前年度)
	成果作品を見た人の数は増え続けており、次の作品制作のためにも、素材を収録したことは妥当であったと判断する。		「まちの今」を映像で残していくことは、歴史文化・都市発展の変遷を記録保存する上でも大変重要なことである。継続することで、効果が発揮されるものであり、単年度での評価は難しいものがあるが、限られた費用の中での取組としては良好であり、事業の意義は高い。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	市の発展経過を永続的に素材を収集し、映像で編集する必要がある、事業の継続が望まれる。 ただし、例として、市の内外を対象に、石狩市を題材にした映像作品コンテスト等を開催し、優秀作品をPRに活用するなどほかにもアイディアはありそうである。
最終評価	「まちの今」を映像で残していくことは、歴史文化や都市発展の変遷を記録保存する上でも大変重要なことであると同時に、その成果品は、「教育」、「観光」など様々な分野でも有効に活用される素材となる。したがって、単年度だけでの評価は難しいものがあるが、継続する意義 記録する対象 素材の有効活用など、これらを常に意識した取り組みが重要である。

9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
上についての説明	統 合		
	休・廃止		